

## 産業功労



渡辺伝次郎さん  
(石坂 65歳)

食糧難にあえいでいた昭和18年吉原町農業会理事に就任、以来37年有余の長きにわたり農政の発展と農業振興に専念。

その間、富士市農業協同組合組合長理事及び富士市農業委員会々長をはじめ、各種農業団体の要職を歴任し、今泉農協の設立、今泉北部農協の合併、更に県下有数の富士市農協の合併に尽力され、近代農協経営の拡充整備をはかるとともに、茶業振興、畜産振興等農家経営の安定向上に貢献されました。

## 社会福祉功労



山崎光子さん  
(久沢西 72歳)

34年有余の長きにわたり献身的な奉仕活動をつづけられ、その間、母子福祉会の組織づくりの推進力となり、結成以来、富士市母子福祉会々長など幹部役員として、母子家庭の生活安定と健全な育成に尽力されるとともに人権擁護委員、家庭裁判所家事調停委員、各種社会福祉団体の役員や富士市連合婦人会々長を歴任し、福祉の増進と婦人の地位向上に貢献。

また、33年有余の間、小・中学校の教諭として子弟教育にも尽力されました。

## 保健衛生功労



渡辺 了さん  
(宇東川本町 66歳)

44年有余の長きにわたり医師として専念され、その間、富士市医師会々長をはじめ、多くの医療団体の役員を歴任し、その卓抜した識見をもって喘息患者の疾病調査研究に参画され、初代富士市公害健康被害認定審査会々長として、公害被害者の救済制度の確立に尽力されるなど、保健衛生の向上と福祉の増進に貢献。

また、33年有余の間、学校医をつとめられ児童生徒の健康管理にも尽力されました。



映画監督  
松山善三さん



「名もなく貧しく美しく」の原作者 松山善三さんが10月4日、福祉大会で講演のため、富士市を訪れました。

——富士市の印象は

松山 いい街ですね。講演会に参加してくれた人たちが、とても熱心に話を聞いてくれました。

——福祉向上には何が必要ですか。

松山 まず第一に、子どもたちに福祉の心を育てさせることです。

それには、子どもたちと障害者とのふれ合いの場を与える。そこから思いやりの心が生まれるのでは…。

——これからの福祉のあり方は

松山 施設を造る時代は終わったと思う。これからは、ボランティア活動に目をむけ、より多くのボランティアを創る必要がある。

もう一つは、ボランティアを受け入れる施設側に問題が…。収容されている人たちとの交流が必要ですね。



## 富士駅にブルートレインが停車

熊本 — 長崎 — 東京間を走る特急寝台車、ブルートレイン「みずほ5号と6号」が、10月1日から富士駅に停車。

これは、市と商工会議所が中心となって、関係方面に陳情した結果、10月のダイヤ改正にともない実施されたものです。

上り「みずほ6号」は、熊本発16時23分、東京行きで、富士駅が、8時58分発。

下り「みずほ5号」は、東京発17時、長崎、熊本行きで、富士駅が19時3分発です。